

幸福感受力に関する一考察

GNH研究所

代表幹事 平山修一

GNHの定義

GNHとは:

国民が幸福を実感して暮らせる社会環境作りのための理念/哲学

【自分が納得すればそれでええやん】

…友人B氏談

【押し付けられたものではない自分の物差しをもつこと】…デザイナー梅原真氏

幸福を感じるとは…

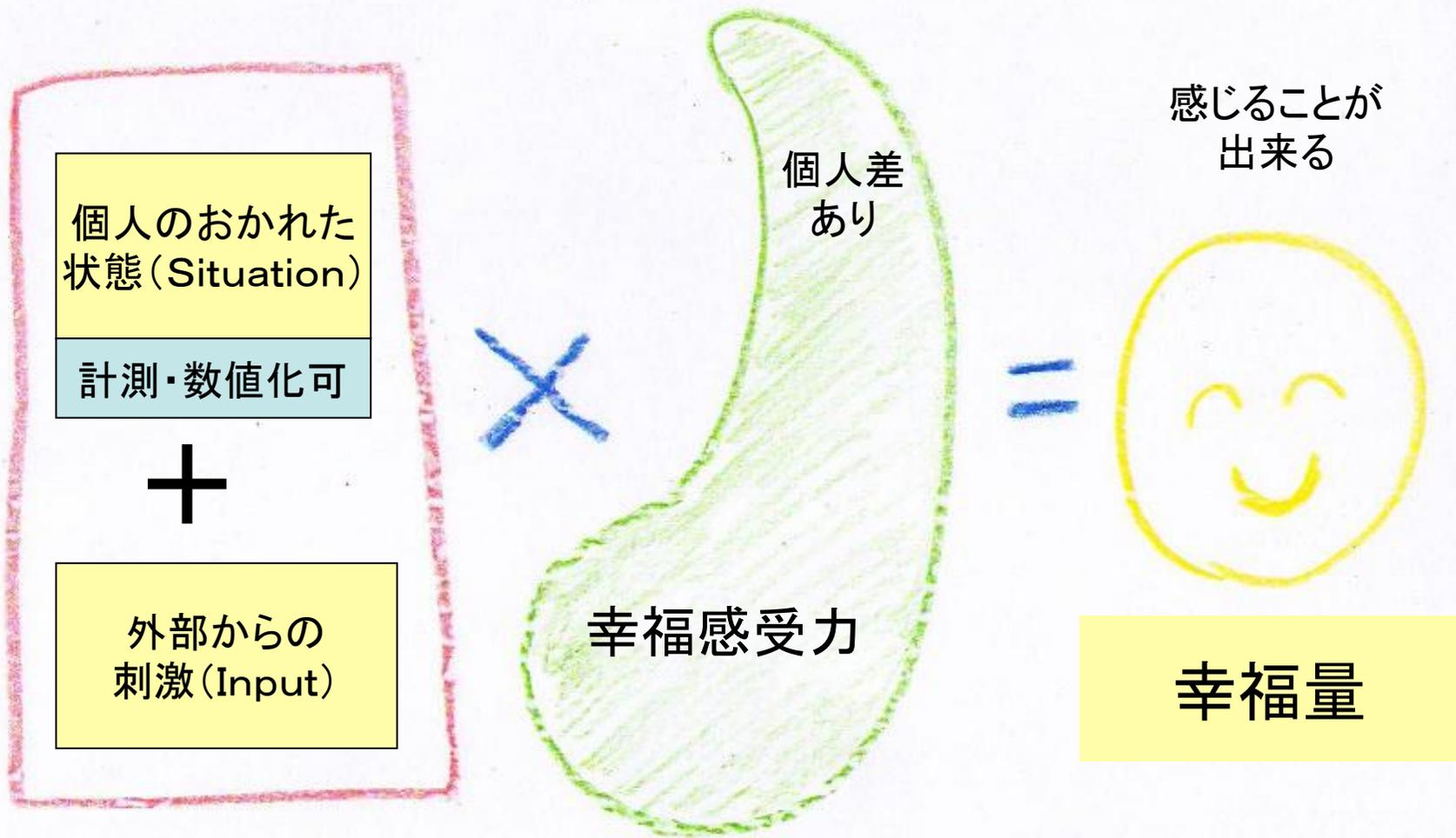
- 幸福は個人差がある
- 幸福はその人の感じ方次第である
- 同じインプットでも個人によってアウトプットは違う



ニーズベースの充足のみの指標化に疑問
幸福を感じる心を育てる事も同時に行うべき
ではないか？

幸福量はどう試算
できるのでしょうか？

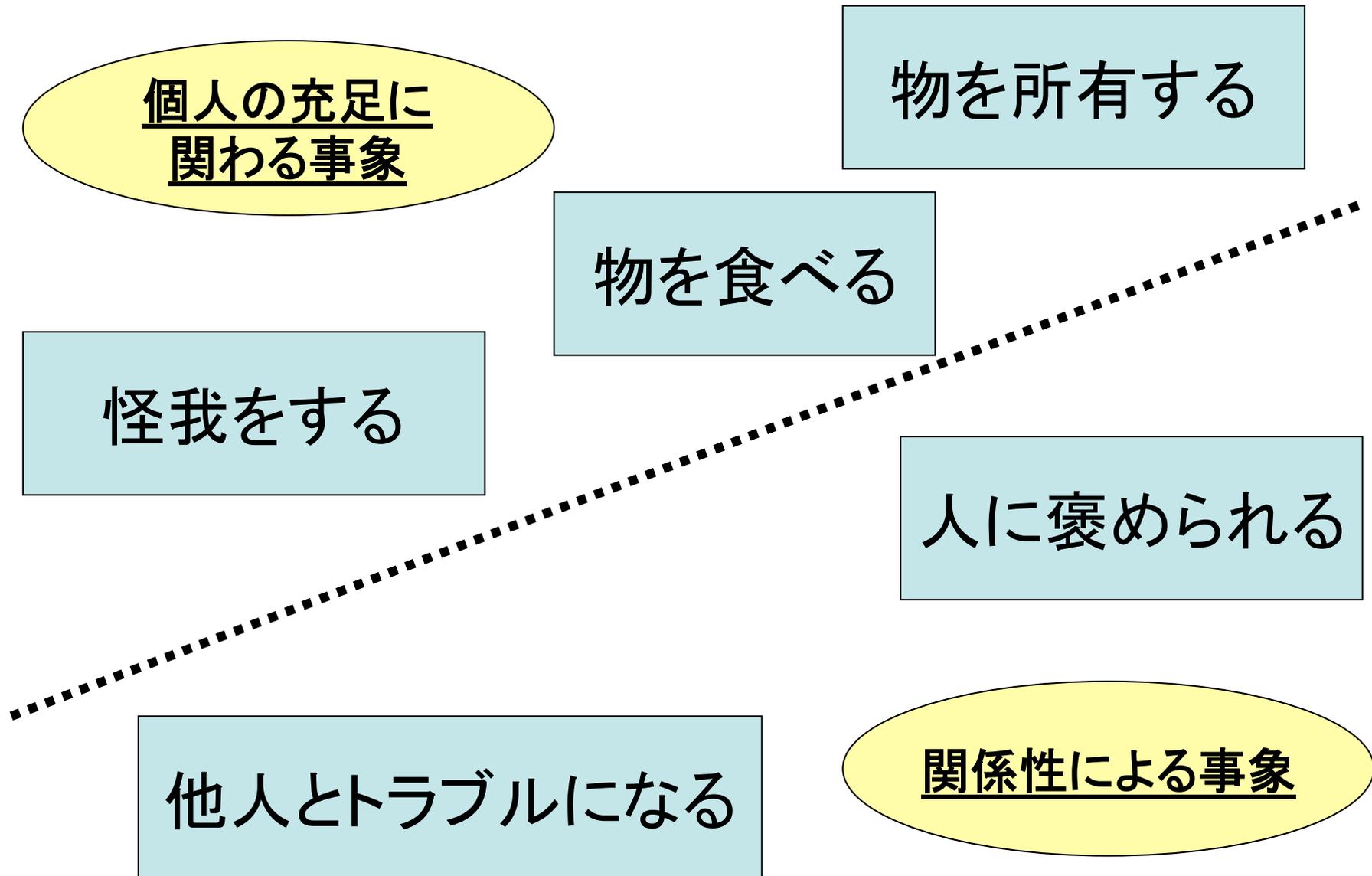
幸福量の計算式(私案)



個人のおかれた状態とは？

- 異なる風土、自然環境、地勢条件
- 伝統、文化、規範の異なる社会環境
- 家庭内環境（両親、兄弟、収入、衣食住、BNHなど）
- 個体としての物理的条件（背が大きい、太っているなど）
- 与えられた教育内容、宗教観
- 安全や安心の度合い

外部からの刺激とは？



幸福を感受する力とは？

- 内発的に自らが幸福感を産み出す力
- 自分の価値観(ものさし)で見る力
- 物事をどうポジティブに捉えるか
- 1を見て10を知る能力/知性

体感的教育

拠りどころとなる
規範、文化、伝統

時間のゆとり

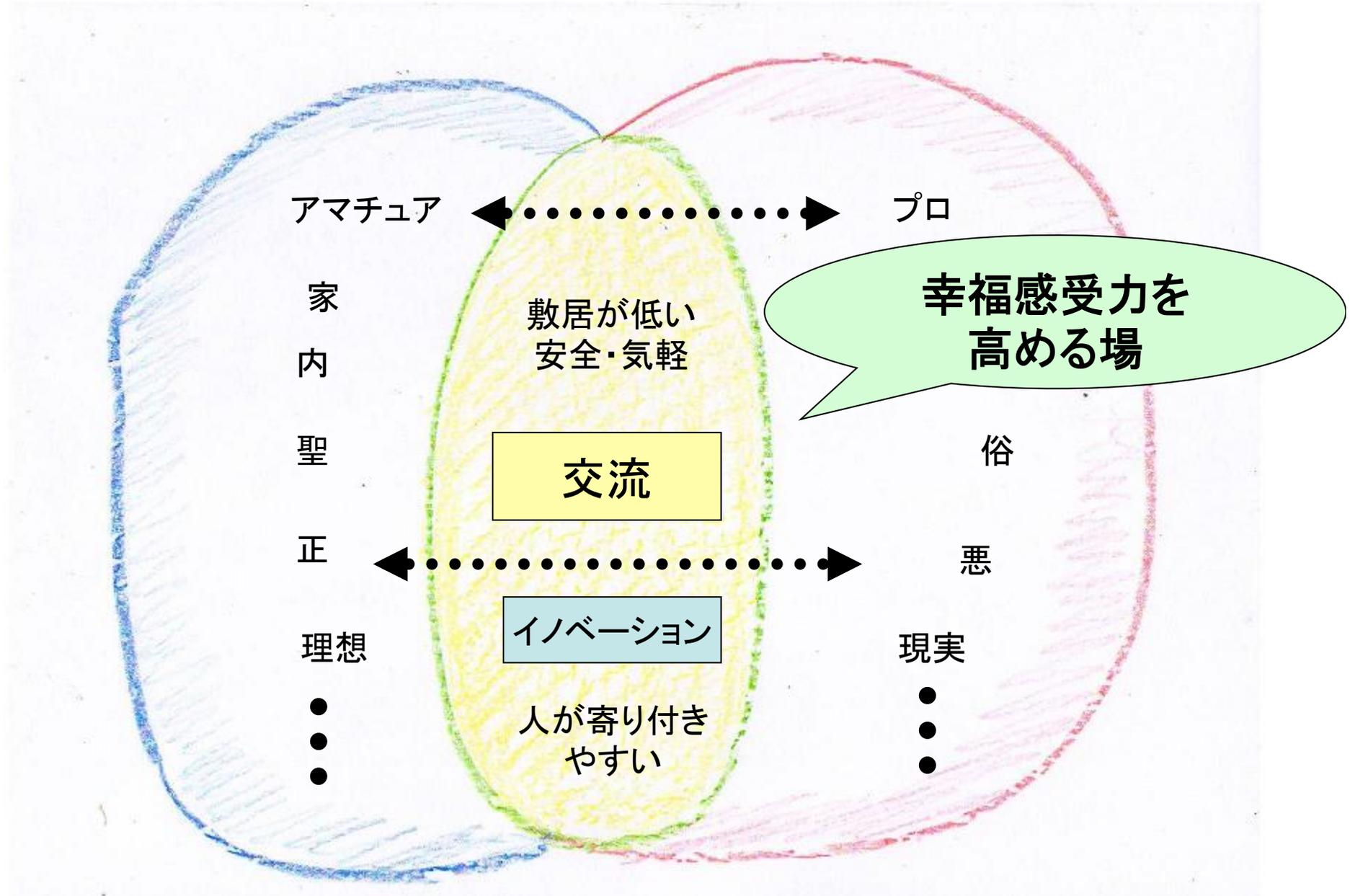
自然環境

社会の公平さ

小さな人口サイズの
コミュニティ

ブータンのGNH政策はBNHの充足と
同時にこれらの育成・保全・振興
を行っているのではないか？

バッファーズーンの重要性



私の主張(要点)まとめ

- 指標や評価とは客観的に様々な視点から分析し、改善を促すもので、点数によって上下優劣をつけるものではない。
- GNHも同様に評点を付けて争うものでもない。
- 評価における現状維持はポジティブとして換算できるのではないか。
- 個人が感じる幸福量は個々人の幸福感受性の度合いに左右されると仮定できるのでは。